

## 公共交通対策特別委員会での協議事項について

亀岡市議会の委員会のひとつである「公共交通対策特別委員会」は、市民の移動権を確保する公共交通対策の推進を図ることを目的に設置され、市議7名で構成されています。

令和3年度の委員会において、委員からオンデマンド交通導入に係る要望があり、タクシー事業者である京都タクシー(株)から具体的な提案を受け、意見交換を行いました。

(会議記録の詳細については、市ホームページで公開されています。)

### 【 経 過 】

○令和3年5月24日(月)

[行政報告(令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について)]

(委員意見)

- ・地域ごとに実施されている取組みを報告願いたい。

○令和3年7月26日(月)

[行政報告(各地域の取組と課題について)]

(委員意見)

- ・地域住民が主体となって取組む地域主体型交通もよいが、ボランティアの方も高齢化してくることなども今から想定する中で、タクシー事業者を活用したオンデマンド交通を市で実施できないか。
- ・事故が起こったときの対応も考え、地域の交通について京都タクシー(株)を含めて意見交換をしたい。

○令和3年8月25日(水)

[意見交換(地域の交通について)]

(京都タクシー(株)提案内容)

- ・実証実験として、ふるさとバスが運行している市内周辺部でバスの便数が少ない地域において、オンデマンドタクシー(定時定路線予約制の乗合タクシー)の導入を提案する。

## 【本市の考え】

- ・地域公共交通網形成計画に基づき 5 年間の各施策を進めている中であり、高齢者等の交通弱者に対しては、地域主体型交通の取組みを活性化させ地域住民の移動手段を確保していきたい。
- ・計画策定時に実施した市民アンケート調査においては、タクシーによる運行はニーズが少ない。
- ・本市の公共交通は、路線バス（ふるさとバス、コミュニティバス、京阪京都交通バス）、タクシー、鉄道が地域の実情や移動需要をふまえてそれぞれのサービスレベルの中で役割を担うこととしている。
- ・提案のオンデマンドタクシーは、行政補助を受けての運行であり運行経路などがふるさとバスと重複することから、バスとタクシーで利用者が分散することに繋がり、市として導入することは行政負担が過大となることが考えられる。
- ・次期計画策定時に公共交通に対する市民ニーズや実態を把握する中で、地域公共交通会議においてオンデマンド交通を含めた市内全体の公共交通網について、交通事業者と全体的・総合的に協議していく必要がある。